

先週末あるクラスでは熱での欠席者が突然4名出て、学校に来ている人も体調不良を訴え続々と保健室に来るといふ非常に心配な様子がありました。また、1年生を中心に水ぼうそうの子が何人か出ています。かぜをひいている人も非常に多くみられるようになりました。

史上最大の流行!?

マイコプラズマ肺炎に気をつけてください!

昨年大流行したマイコプラズマですが、今年は昨年以上の史上最大の流行になる恐れがあると心配されています。マイコプラズマ肺炎は、症状が軽い人が気づかず、学校に行ったり、仕事に行ったりして感染を広げるため「歩く肺炎」と言われることもあります。

マイコプラズマ肺炎とは



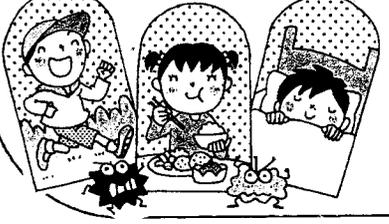
潜伏期間は1~3週間。感染した人の咳やくしゃみによって感染します。幼児期から青年期を中心に感染しますが、小学校低学年にもっとも多くみられます。5歳未満の子供は症状が軽いか無症状のこともあり、感染に気付かないこともあるそうです。免疫は持続しないため、何度でもかかる可能性があります。

症状は



発熱、だるさ、頭痛等がかぜと区別がつきにくいのですが、3~5日して咳が始まる事が多く、熱が下がっても咳は長く残ります。症状に個人差があり、2~3日で治ってしまう人もいれば、治るのに一か月以上かかる人もいます。髄膜炎や中耳炎、脳炎などの合併症を起こす可能性もあります。

予防は



かぜと同じで手洗い・うがいをしっかりすることです。また睡眠不足や過労に気をつけて、からだの抵抗力を落とさないことが大事です。予防注射はありません。



かぜとよく似た症状なので、気がつかないこともあるようです。熱が高かったり、症状が続く時は病院で診てもらいましょう。特に咳が長引く場合は要注意です。咳がでる時はマスクをして、他の人にうつさないように気をつけてください。

マイコプラズマ感染症は出席停止になります。学校に来るのはお医者さんの許可が出てからにしてください。